

～落語教室が開かれました～

3月4日(火) 4時間目、本校体育館に落語家の柳家小はぜ様をお迎えして、3年生を送る会を兼ねた落語教室が開かれました。最初のインタビューでは、噺家を目指した理由や運命的な師匠との出会いなどを、お聞きすることができました。その後、落語を一席聞かせていただきました。軽妙に話が進むと、生徒たちには話の中の世界を想像しながら次第に引き込まれていく様子を感じられました。最後のコーナーでは、青嵐中生が舞台に上がることに…。3年生からは3Eの菅原さんが舞台に上がり、「時そば」の一席を披露しました。

自らの思いを行動に移して師匠に弟子入りし、真打ちへの昇進も間近となっている小はぜさんですが、色紙を求められると「まだまだ」と書かれるとのこと。これからもずっと落語家として頑張っていくという思いを示しているとともに、自分自身の成長という面でも「まだまだこんなものじゃない！」との思いがある、との話に、これからは別々になり新たな道を歩んでいこうとしている3年生は、改めて気持ちを高めている表情となっていました。



～社労士講話が行われました～

3月5日(水) 5時間目、社会保険労務士の奥山様他5名の社労士さんから、「働くこととは？」と題したお話を聞かせていただきました。職業としての社会保険労務士の仕事を学ぶとともに、今後生徒が働く場面で必要となる「労働条件の見分け方」についても、クイズ形式で学ぶことができました。ロールプレイを通して実際に「お客様に対する態度」のあり方や「働く際の態度」のあり方なども、自分事として考えることができました。生徒の感想には、「雇われ

る、雇われない働き方について、初めて知ることができた」「働く条件の法律がいっぱいあり、働き方改革が進んでいると感じた」「社会で習ったことが出てきて理解が深まった」などがあり、今回の講話を通して、職業の世界がより広がったり、働くことへの理解がより深まったりしたようでした。

～卒業式練習が始まりました～

今週から卒業式練習が始まりました。先日は学年主任の石沢先生から「式に臨むにあたっての心構え」の話があり、改めて卒業式のもつ意味とその重要性を自覚しました。その後は自分たちの座席を確認したり、入場の動きを確認したり、卒業証書授与の流れをDVDで確認するなどして、自分たちの動きをイメージしました。今後は実際の呼名からの動きを練習したり、卒業式で歌う歌を練習したりするなど、さらに多くの取組が待っています。門出の式が厳粛で心温まるものとなることを大いに期待していますので、1回1回の練習に誠実に取り組んでほしいと思います。なお、卒業式当日に向けて、ご家庭におかれましては今一度制服のボタンや校章・クラス章を点検していただくとともに、ワイシャツなどの確認もお願いできればと思います。



来週の予定 登校時間8:25

日にち		予 定
3月10日	月	振替休業日
3月11日	火	①～⑤ 通常授業 <u>給食あり</u> 都立二次 ①②球技大会 / ③④認知症サポーター講演 / ⑤卒業式学年練習3回目
3月12日	水	①～⑤ 通常授業 <u>給食あり</u> ②薬物乱用防止教室 / ⑤2年生と合同で卒業式練習 【職員会議】
3月13日	木	①～④ 通常授業 <u>給食あり</u> タブレット・充電器回収 茶道体験 / お世話になった方々への手紙 他
3月14日	金	①～④ 通常授業 <u>給食あり</u> ①合唱練習 / ②手紙 / ③④卒業式予行